

ノンステップバス導入による社会的効果

障害者や高齢者

自由な外出機会の増加

- ・従来のバスでは、ステップ乗降時に負担が大きく乗車に時間がかかっていたが、ノンステップバスにより、乗降時の負担が軽減された。(高齢者)
- ・両親や介助者に遠慮することなく一人で出かけることができるようになった。(電動車いす使用者)
- ・電動車椅子で移動する際はバッテリー切れが心配となるが、ノンステップバスを利用することで行動範囲が広がった。(電動車いす使用者)
- ・歩道が整備されていないところでは、電動車いすで移動することが困難であったが、ノンステップバスを利用し(目的地まで)行くことが出来るようになった。(電動車いす使用者)
- ・駅の階段を駅員に運んでもらうことを考えると、並行してノンステップバスが運行されていれば、そちらを利用する(電動車いす使用者)
- ・駅での上下移動を考えると、急がないときはバスのほうが気軽に利用できる。(高齢者)

(ノンステップバス導入による移動経路の変化例)



西武柳沢駅では、係員を呼び出し道路からスロープで地平ホームに直接上がっていた。JR新宿駅・吉祥寺駅とも車椅子対応エスカレーターで、駅員をその都度呼び出す必要があった。

導入後

ノンステップバス

ノンステップバスを利用すれば、鉄道を利用していたときのように何度も乗り換えたり、駅係員を待つ必要がなくなり、移動時間が短縮された。



気軽に買い物を楽しむことが出来るようになった。

消費活動の活発化

- ・積極的に外出でき、駅周辺で買い物を楽しむことができるようになった。(市民団体代表)
- ・カルチャーセンターに通ったり、買い物したりするようになった。(電動車いす使用者)
- ・外出時に行ったことのないカフェ等に立寄って食事をすることもできる。(電動車いす使用者)

家族や介助者の負担軽減

- ・車椅子使用者が駅を利用する場合、自家用車で送迎されるケースも多く、自家用車からの移乗介助が負担となっていた。ノンステップバスの運行により単独で駅にアクセスでき、家族の負担が大幅に軽減されている。(市民団体代表)
- ・妻も体力が落ち、一緒に外出・介助することが難しくなった。一人で出かけることで家族の負担も軽減するのではないかと。(電動車いす使用者)

精神衛生の向上

・福祉コストの抑制の可能性等

- ・一人で移動できることのメリットは計り知れない。他のことにも自信がもてるようになる。(手動車いす使用者)
- ・少しでも外出し、公共交通を利用して、家族以外の人と接することにより心も体も健康になるのではないかと。中長期的には、要介護者の抑制につながるのではないかと。(電動車いす使用者)
- ・席に座るまで待ってくれたり、運転手さんのいたわりが感じられるようになった。(高齢者)

ベビーカー利用者

妊娠時・乗降時の負担軽減

- ・妊娠中、バスのステップの乗降がきつかった。
- ・妊娠中、ノンステップバスに乗った際には非常に乗りやすかった。
- ・ベビーカーをたたまずに乗り込むことができ、負担軽減となっている。
- ・小さい子どもでも容易に乗降できる。

乗務員

乗務員のバリアフリー業務に関わる負担の軽減

- ・車いす使用者が乗降する際に、他の乗客に協力要請することがなく、乗務員の負担が軽減されている。
- ・車いす使用者の乗降が一般車両に比較して短時間で安全に行え、負担が軽減した。
- ・肢体不自由者の方もスムーズに乗降できるようになり、介助するために運転席を離れることが少なくなった。

一般の利用者

「ノーマライゼーション」思想の浸透等

- ・これまで、養護学校は特別な通学バスで送迎していた。ノンステップバスの導入を契機に養護学校の生徒でも、普通の人と一緒に移動することができるようになってきた。教育の場面でも、公共交通機関を利用する機運が高まってきている。
- ・少しずつだが、周りの一般利用者から特別な目で見られることがなくなってきた。